



くまのみ通信

中谷外科病院の理念一患者様とともに歩む

-中谷外科病院広報誌-



あけましておめでとうございます。希望あふれる新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。中谷外科病院スタッフ一同も今年の干支「巳年」にあやかり、実行力と忍耐力で頑張ってみます。2013年最初の『くまのみ通信28号』を元氣にお届けします。



第28号
2013. 1月発行

発行元
医療法人吉備会
中谷外科病院
患者サービス向上委員会
委員長 中谷紳

〒706-0001
玉野市田井3-1-20
TEL 0863-31-2323
FAX 0863-31-8486
ホームページ <http://www.nakatani-hosp.jp>
Eメール Goiken@nakatani-hosp.jp

診療受付時間
月～金 9:00～12:00
15:30～18:30
土 9:00～12:00

＜中谷外科病院の
基本方針＞
I:常に患者様の立場に
立ち、行動する。

I:消化器内視鏡、大腸
肛門病の専門病院として
最新・最善の医療を提供
する。

I:多職種間によるチー
ム医療の充実をはかる。

I:在宅復帰を支援し、
社会に開かれた地域
医療を行う。

I:職員同士の和を重視
し、思いやりのある医療
を実践する。

新年にのぞんで



あけましておめでとうございます。

昨年10月、「復興」の年まただ中、当院は日本医療評価機構の病院機能評価ver.6を受審しました。この度の受審で良かったことが二つあります。

一つ目は院外の第三者から指摘されることにより、当院の現状を客観的に認識することができたことです。これにより具体的な問題点がはっきりとし、継続した改善に取り組むことが可能になりました。

二つ目は職種は異なっていますが職員一人一人が患者様とご家族のために一生懸命働いていること、当院は素晴らしいスタッフに恵まれていることに改めて気づかされたことです。

厳しい医療環境を単に嘆いていても仕様がありません。感謝の気持ちを忘れず、将来に希望を持ち、今年も前を向いて一歩ずつ進んでいきたいと思えます。引き続き叱咤激励のほどよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様方にとり素晴らしい年となりますよう祈念し、私の新年のご挨拶とさせていただきます。

平成25年1月1日

中谷外科病院 院長 中谷 紳

保育園児訪問

11月22日(木)に地域の保育園児が
勤労感謝とのことで、当院を訪ねて
来てくれました。

子供達の「頑張ってるね！」の明るい声に
元氣をもらいました。

これからも地域に密着した病院として頑張っていきます。

(事務長 中谷 富江)

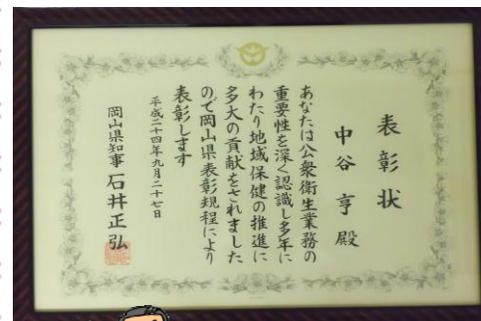


2013年 各部署のモットー

診療部	安全で的確な内視鏡医療を提供する
病棟看護部	消化器内視鏡専門病院の看護師として 「大腸内視鏡の確実な前処置ができる」
外来看護部	消化器内視鏡専門病院の看護師として 「大腸内視鏡前処置の説明が確実に実施できる」
薬剤部	薬物療法 レベルアップ目指して コツコツ努力
栄養部	安全で適切な栄養管理
放射線部	さらに負担の少ない撮影の実施
リハビリ部	患者様のニーズに沿ったリハビリを行う
居室	利用者様本意のプランを！！ 又、事務処理、連絡は合理的に短時間で！！
地域医療連携	「親切」「丁寧」な対応！！
事務部	正確で思いやりのある対応



岡山県保健衛生功労者表彰



H24年9月27日に
中谷 亨理事長が
「県知事表彰」を受けました。
この表彰は、多年にわたり
保健衛生事業の発展のため
献身的な活動を続けてこられた
方々に対し贈られるものです。

理事長！長年、多くの患者様・私達職員と
ともに歩んでくださりありがとうございます。
(看護師 中根 敏子)



Nakatani surgical hospital

機能評価V. 6を受審して

2007、V5を受審。受審後は、スタッフ一同感涙に浸りました。

あれから5年。今回の受審では「医療、看護、サービスの質」「患者の権利」「チーム医療の充実」等がクリア出来ているかを問われました。マニュアル改訂の実績やその根拠。日頃実施している医療、看護、サービスの内容改善と分析、評価。

準備は少しずつ進めて来ましたが、本気モードに入ることが出来ず焦りが募りました。ギアチェンジ出来たのは受審2週間程前でした。スタッフと協議を重ね問題点を絞り込み夜遅くまで作業を続けました。



受審前日、山と積まれたファイルを並べながら、心が決まらない、迷いの思いを持つ自分に不安がよぎりました。明日に控えた機能評価を乗り切れるのか？眠れない夜を明かしました。

とうとうやってきました。受審日です。サーベイヤーが席に着き、院長の受審に対する決意表明の時間です。私は、胸がドキドキしました。しかし、院長は、落ち着いた表情で次のように話しはじめました。

『厳しい医療環境の中、「今日一日無事でよかった・だけでなく」1.チームとしての医療の質を改善・向上し、1.より働きがいのある職場環境作りを継続していくよいチャンスと考えます。』

このとき、私はハッとしました。何度か聞いていた受審理由でしたが、そうだったのだ。機能評価を受審する事が目的ではなく、この5年間実施してきた、医療、看護、サービスを評価して頂くチャンス。機能評価受審はチャンスだったのだ。そう思うと、不遜にも、笑いが込みあげて来ました。落ち着いてサーベイヤーと対することが出来ました。ありのままの病院の姿を見て頂くことが出来たと思います。

終了日の講評では、課題も沢山頂きました。思いもよらない称賛も頂いたりしました。前回の受審では味わう事のなかった、多くの事を得た思いがします。それは、“再スタート”する事です。機能評価が終わったのではなく、機能評価を通して新たなスタートを切る事が出来たことです。新たな目標に向かって働く仲間と一歩ずつ、みんなで歩みたいと思います。受審結果はまだ先になりますが、これからも、謙虚な気持ちを忘れず日々努力して参ります。素晴らしい上司や仲間「ありがとうございます。」

看護師長 新田 照美

中谷病院での研修を終えて

私たちはそれぞれ9月、11月の一ヶ月間地域医療研修でお世話になりました。中谷外科では私たちが労災病院で普段行っている入院患者さんの管理とは違い、外来業務を中心に経験させていただきました。外来に来られる患者さんは、高血圧や糖尿病などの疾患を持つ高齢の方が多いですが、見た目にはお元気そうな方が多い印象でした。見た目には元気そうでも日々の診療のなかで、患者さんの微妙な変化をとらえ健康を管理していくことが地域の病院の重要な役割だと実感しました。

また往診やいい荘への訪問などの貴重な体験をさせていただき、私たちが知らなかった医療の側面を知ることができました。

一ヶ月間という短い期間でしたが、充実した研修をさせていただくことができました。この経験を活かしていくよう頑張りたいと思います。

最後になりますが、中谷先生、その他職員の皆様、分からないことばかりの私たちをお忙しい中ご指導していただきありがとうございました。この場を借りて御礼も申し上げます。

岡山労災病院研修医 高橋 優太
田中 隆一郎



第8回 スタッフのひとりごと

勤務年数丸12年。こんなに長く続いた職場はありません。
楽しい楽しいで働けるこの職場、結構好きです。

私の人生の集大成がここに 있습니다。

子供たちの中高大の入学・卒業。結婚。孫の誕生。自分の離婚。

困ったときは必ず助けてくれる院長はじめ職員の方々。

H23.9の台風12号で床上浸水になったときは住めなくなり、精神的にくじけましたが勇気付けられ

早く復帰することが出来ました。

《あ～この職場で良かった》と有り難く感謝しています。

看護助手5名、何かあれば結束しチームワークの良さ。

思いは一つ皆が一丸となって成し遂げる力がある。

これも居心地の良さの一つになっているのかも・・・

だからこそ、自分を差し出し今この瞬間を全力で進んで行きます。



(看護助



Nakatani surgical hospital